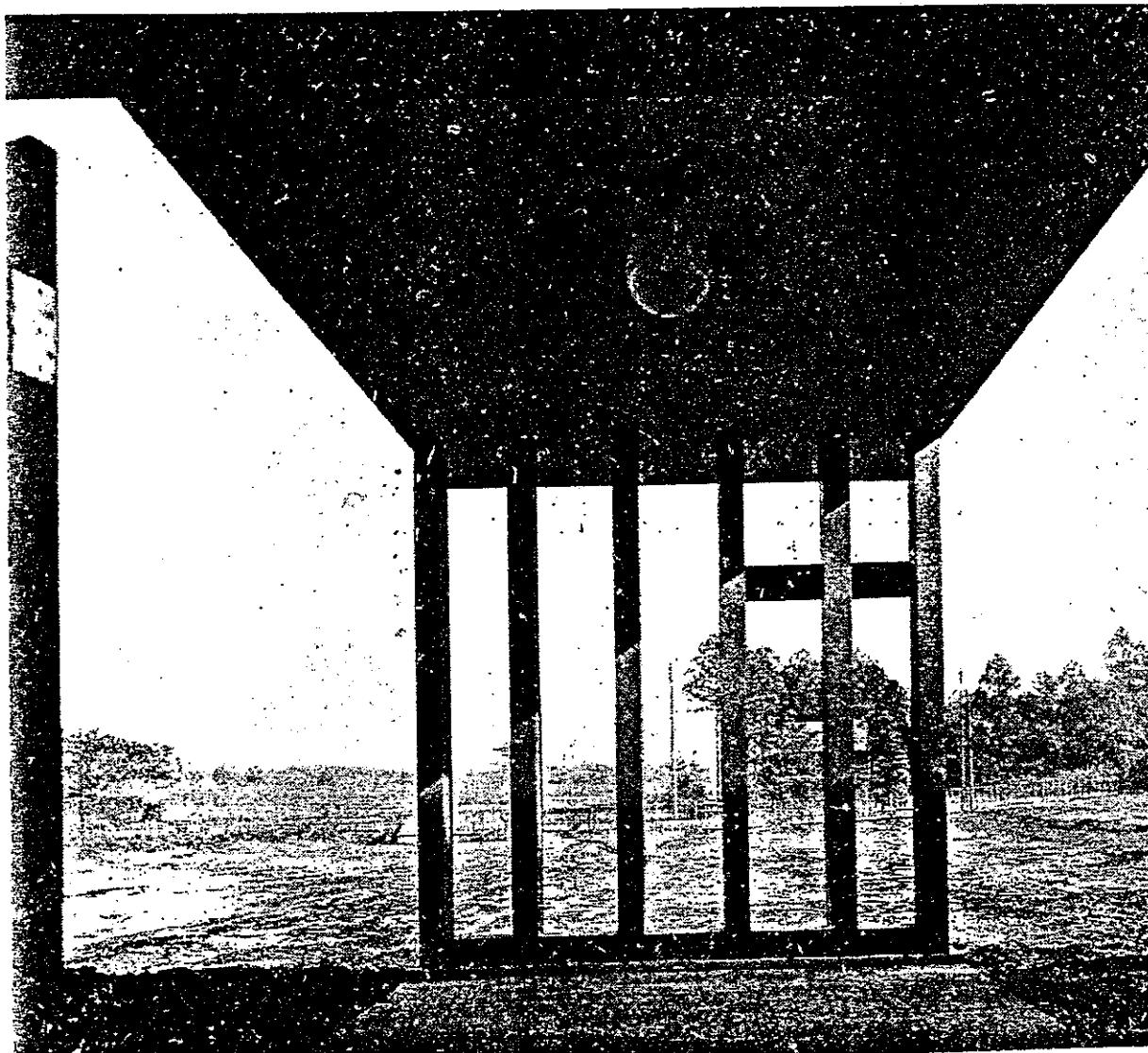


度年三十和昭

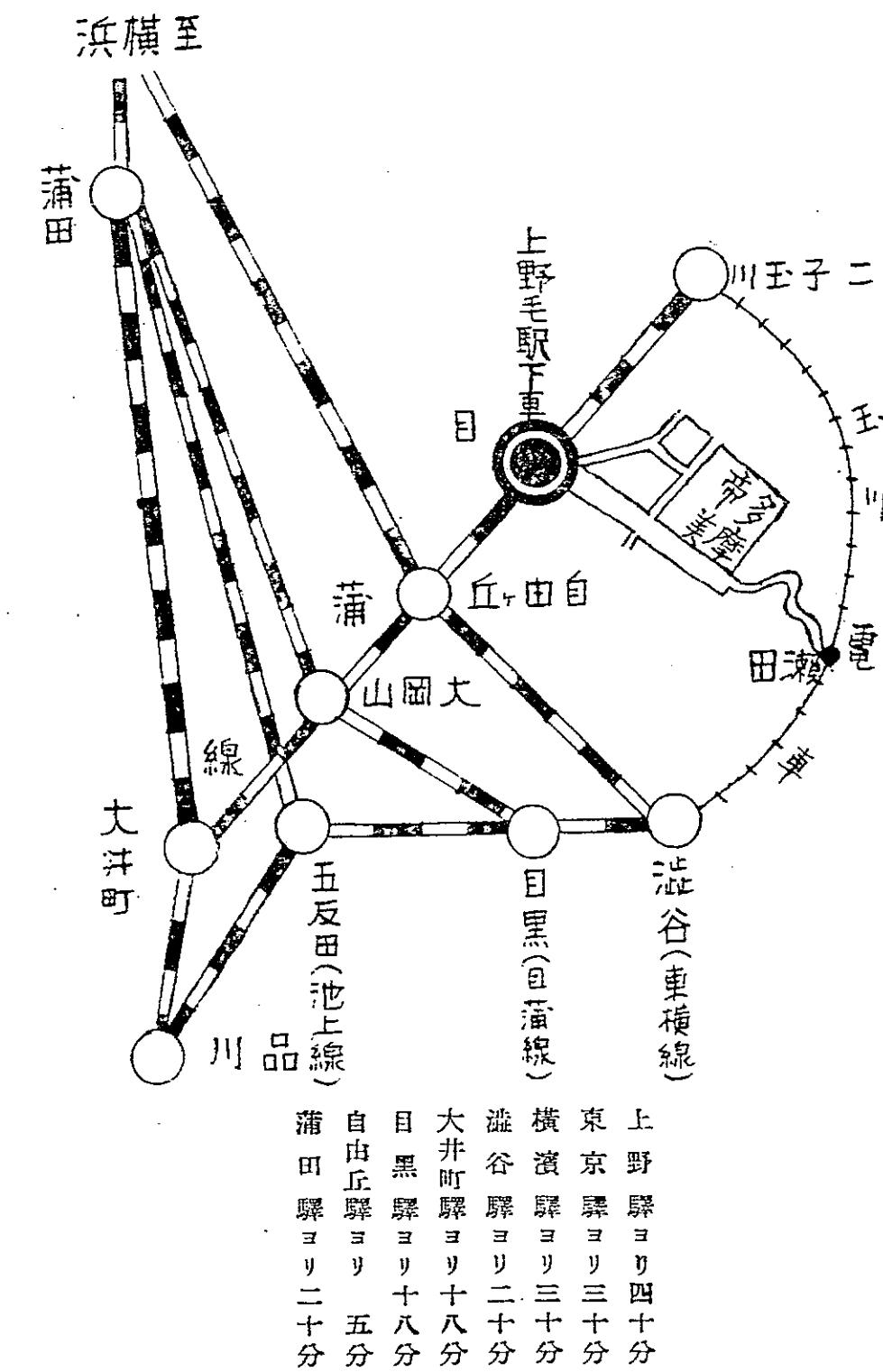
內案學入校學術美國帝摩

部 子 女



地番六三三町毛野上川玉區谷田世市京

番六五川玉話電・番〇五五五八京東替振



願書受付　由11月一日　至三月三十一日

入學試験　四月四日

試験科目

繪畫部　日本畫者一毛筆寫生
西洋畫者一木炭石膏像寫生
图案及其應用部一鉛筆單彩及图案

口頭試問

昭和十三年度募集要項

募集定員

本科第一學年	繪畫部	五十名
選科第一學年	圖案及應用部	五十五名
專攻科第一學年	二十名	二十名
	日本畫ヲ主トスル者	十名
	西洋畫ヲ主トスル者	二十名
	图案ヲ主トスル者	二十名

校學術美國帝摩多



臺灣貨色染部樂圖

西洋畫部實習室



本校女子部設立趣旨

美術ハ國民ノ品位ヲ高メ道徳及び學問ト共ニ一國文化ノ精隨ヲ爲スモノデアリマス。殊ニ我國民ノ美術愛好ノ精神ハ古來優秀ナル美術品ヲ出し我が文化ヲシテ世界ニ聲價ヲ高カラシメタコトハ敢テ贅言ヲ要シマセン。然ルニ我ガ美術教育ノ現狀ヲ見ルニ微々トシテ振ハズ實績ノ伴ハヌモノガアリマシタノデ、コレヲ遺憾トシテ多摩帝國美術學校ハ昭和十年九月六日私立學校令ニヨル設立認可ヲ得、東京市ノ内外ニ於テ風光明媚ナルコト唯一トモ稱スベキ多摩川畔ノ四周清爽ナル高臺ニ校地五千三百八十九坪ヲ選定シ口繪ニ掲載シタル如キ校舍ヲ新築シ爾來一ヶ年ヲ経過シマシタ。然ルニ本校ハ時世ノ現狀ヲ觀察シ女子ノ美術教育モ亦等閑ニ附シ難イコトヲ痛感シテ昭和十一年八月十七日附ヲ以テ附設ノ認可ヲ東京府知事ヨリ得タノデアリマス。蓋シ近代ノ物質文化ハ其ノ影響ヲ家庭ノ内部ニ及ボシ生活内容ハ日々ニ無味荒蕪ニ

向ヒツ、アリマス。コレヲ匡正シ生活ヲシテ潤ヒ豊カナラシメルモノハ獨リ高等美術教育ヲ受ケタル趣味高雅ナ婦人ノ外ニハアリマセン。加フルニ婦人ノ實生活ハ衣食住ノ全般ニ亘ツテ近時益々美術知識ノ實際應用ヲ要求シテ居リマス。本校ハ此等ノ任ニ堪ヘ要求ヲ充スニ足ル婦人ノ養成ヲ以ツテ開設ノ主要目的トシ、更ニ進テ純藝術家タラントスルモノノ爲ニ專攻科ヲ設ケテ其ノ道ヲ開キマシタ。而モ本校ハ美術教育ヲ受クルモノガ女子ナルニ鑑ミ、特ニ慎重ナル注意ヲ拂ヒ德性ノ涵養ト人格ノ向上ニ留意シ情操品性兼備、健全明朗ナル現代婦人ヲ養成センコトヲ期シ學生ノ薰育ニ全力ヲ盡シ其ノ責ヲ負フコトニ致シマシタ。斯ノ如キ趣意ノ下ニ婦人ニ適切ナル美術教育ヲ施スナラバ現代女子美術教育ノ缺陷ヲ補ヒ、我國美術ノ進運ニ寄與スルノミナラズ人生生活ソノモノニ貢献スルコトノ決シテ少クナイコトヲ信ジマス。

本 校 ノ 沿 革

昭和十年九月六日 東京府知事ヨリ設立認可

同 十一年八月十七日 女子部設立認可

同 十二年一月三十日 文部省ヨリ財團法人認可

同 十二年四月八日 男子部ニ對シ徵兵猶豫ノ特典ヲ受ク

本 校 ノ 位 置

東京市ノ内外ニテ風光明媚ナルコト唯一トモ稱スベキ多摩川畔の四周清爽タル高臺ニ六千坪ノ校地ヲ選定シテ本邦ニ末ダ曾テ無キ最新式ナ校舎ヲ新築シマシタ。背景ヲ悉ニシ雲雀ノ上ル武藏野ノ廣潤ト相俟ツテ空氣清澄近郊第一ノ健康地デアリ、一木一草悉ク繪畫ノ資料デナイモノハアリマセン。美術學校所在地トシテハ恐ラク他ニ得難イ好適地デアラウト信ジマス。

第六條 本校ノ休日左ノ如シ

祭日 祝日 日曜日 本校創立紀念日
夏季休業 自七月十一日至九月十日

冬季休業 自十二月二十五日至翌年一月七日
春季休業 自三月二十五日至四月十日

第七條

本校各科各部ノ學科、學科課程並ニ毎週教授時數左ノ如シ
但シ必要ト認ムル場合ハ學科目及毎週授業時數ヲ増減スルコトアルヘシ

第四章 學科課程、授業時間

本科繪畫部毎週教授時數

科 目	時 數	第一學 年		第二學 年	
		學 科 課 程	時 數	學 科 課 程	時 數
修 育	身	實踐倫理、國民道德	二	實踐倫理、國民道德	二
國 語 及 漢 文	育	講讀、作文、習字	四	講讀、作文、習字	四
外 國 語 (佛語)	身	講讀	二	講讀	二
美 學 及 美 術 史	育	東洋美術史	二	東洋美術史、西洋美術史	二
藝 用 解 剖	身	美學杜論	一	筋肉學	一
骨 學	身	筋肉學	一	筋肉學	一
筋 肉 學	身	筋肉學	一	筋肉學	一

科 目	時 數	第一學 年		第二學 年	
		學 科 課 程	時 數	學 科 課 程	時 數
圖案及其應用	六	繪、編物、袋物、裁縫、染色、其他	六	繪、編物、袋物、裁縫、染色、其他	六
日本畫(若クハ)	一七	臨畫、寫生、創作	一七	臨畫、寫生、創作	一七
西洋畫	一七	木炭畫、水彩畫、油繪	一七	木炭畫、水彩畫、油繪	一七
計	三五		三五		三五

日本畫西洋畫ハ其ノ一ヲ選ヒ二學年ヲ通シテ學修セシム
彫刻モ隨意科トシテ希望者ニ實習セシム
科外トシテ育兒法 婦人衛生 作法ヲ加フ

本科 圖案及其應用部毎週教授時數

科 目	時 數	第一學 年		第二學 年	
		學 科 課 程	時 數	學 科 課 程	時 數
修 育	身	實踐倫理、國民道德	二	實踐倫理、國民道德	二
國 語 及 漢 文	育	講讀、作文、習字	四	講讀、作文、習字	四
外 國 語 (佛語)	身	講讀	二	講讀	二
美 學 及 美 術 史	育	東洋美術史	二	東洋美術史、西洋美術史	二
藝 用 解 剖	身	美學概論	一	筋肉學	一
骨 學	身	筋肉學	一	筋肉學	一
筋 肉 學	身	筋肉學	一	筋肉學	一

日本畫	西洋畫	若クハ	六	臨畫、寫生、創作	六	臨畫、寫生、創作
圖案及其應用			一七	木炭畫、水彩畫、油繪	木炭畫、水彩畫、油繪	圖案法、圖案原理、染色、刺繡
計			三五	編物、袋物、裁縫、其他	編物、袋物、裁縫、其他	圖案法、圖案原理、染色、刺繡

日本畫西洋畫ハ其ノ一ヲ選ヒ二學年ヲ通シテ學修セシム
彫刻モ隨意科トシテ希望者ニ實習セシム
科外トシテ育兒法 婦人衛生 作法ヲ加フ

選科 每週教授時數

科 目	學 年	時 數	第 一 學 年		第 二 學 年	
			學 科	課 程	學 科	課 程
習 修 國 語 及 漢 文	身	一 四	楷書、行書 講讀、作文		二 國民道德大意	二 國民道德大意
圖 案 及 其 應 用		一〇	繪、編物、袋物、裁縫、染色、刺		一〇	繪、編物、袋物、裁縫、染色、刺
日本 畫	若 クハ	一 四	木炭畫、水彩畫、油繪	木炭畫、水彩畫、油繪	一 四	木炭畫、水彩畫、油繪
西 洋 畫		二	東洋美術史	西洋美術史	二	西洋美術史
美學及美術史		三五	日本美術史	美學概論	三五	日本美術史
計						

計

日本畫 西洋畫ハ其ノ一ヲ選ヒ二學年ヲ通シテ學修セシム
時間ニ差支ナキ限り本科ノ講義ヲ聽講セシム

專攻科 每週教授時數

科 目	學 年	時 數	第一學年		第二學年		第三學年	
			學 科	課 程	學 科	課 程	學 科	課 程
修 修 國 語 及 漢 文	身	一	實踐倫理		倫理學		法制經濟大要、作法	
數 學		一						
外 國 語 (佛語)		二	講讀、作文		講讀、作文		教育學、教授法	
美學及美術史	二	二	日本美術史		西洋美術史		美學概論	
用 器 畫	二	二	平面幾何畫法		臨畫、寫生、圖案實習		木炭畫、水彩畫、油繪	
圖 案 日 本 畫	二	二	木炭畫、水彩畫、油繪		木炭畫、水彩畫、油繪		木炭畫、水彩畫、油繪	
計		三五						

日本畫 西洋畫 圖案ハ其一ヲ選ンテ專攻スルモノトス

第五章 試験 進級 卒業修了

第八條 試験ハ毎學期末之ヲ行フ
第九條 進級卒業及ヒ修了ノ認定ハ試験ノ評定並ニ平素ノ成績及ヒ操行ヲ考査シテ之ヲ行フ

第十條 病氣其他已ヲ得サル事故ニヨリ試験ニ缺席シタル者ハ其ノ事由ヲ詳記シ追試験ヲ願出ルトキハ證議ノ上之ヲ許可スルコトアルヘシ
各科トモ所定ノ課程ヲ修了シタル者ニハ卒業證書ヲ授與ス

第十一條 第六章 入學 退學 休學

第十二條

本校女子部本科ニ入學シ得ル者ハ各號ノ一ニ該當スル者タルヘシ
一、高等女學校 實科高等女學校卒業者若クハ修業年限五ヶ年ノ高等女學校ノ

第十三條 第四學年修了者

二、專門學校入學者檢定規定ニ依ル試験檢定合格者

三、專門學校入學者檢定規定ニ依ル指定學校卒業者
四、小學校本科正教員 尋常小學校本科正教員 及小學校專科正教員

第十四條 第四學年修了者

修業年限五ヶ年ノ高等女學校卒業者ハ證考ニヨリ本科第二學年ニ編入セシ

第十五條 ムルコトアルヘシ

專攻科ニ入學シ得ル者ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル者タルヘシ

第十六條 第四學年修了者

一、本校女子部本科卒業者

第十七條 第四學年修了者

二、右ト同等以上ノ學技ヲ有スル者

第十八條 第四學年修了者

三、本校女子部選科卒業者ハ學技試験ノ上專攻科ニ入學スルコトヲ得

第十九條 選科ニ入學シ得ル者ハ第十二條ノ資格ヲ有セサルモ證考ニ依リ適當ト認メラレ
タル者トス

第二十條

本校女子部ノ入學時期ハ毎年四月始トス 但シ缺員アル場合ハ隨時入學ヲ許可

第二十一條 スルコトアルヘシ

本校ニ入學セントスル者ハ左ノ書類ニ検定料(金參圓)ヲ添ヘテ差出スヘシ

第二十二條

一、入學願書

第二十三條

二、履歷書

第二十四條

三、卒業又ハ修了證明書或ハ試験檢定合格證明書

第二十五條

四、戶籍抄本

第二十六條

五、寫真(最近三ヶ月以内ニ撮影シタル半身脫帽手札型)

入學志願者ニシテ現ニ教職其他官公職ニ在ル者又ハ服務義務ヲ有スル者ハ前記書類ノ外所屬長官ノ承認書ヲ添付スヘシ

但本校女子部本科及選科卒業生ニシテ專攻科ニ入學ヲ志願スル者ハ入學願書ノ外本條ノ書類及ヒ検定料ヲ要セス

第二十七條

検定料ハ如何ナル事由アルモ之ヲ返付セス

第二十八條

(用紙半紙二ヶ折姓名ニハ振假名ヲ附スヘシ)

私儀御校 科 部第學 年ニ入學志願ニ付履歷書其他御規定書類及檢定料相添ヘ此段相願候也

第二十九條

年 月 日

本^音族稱(戸主名續柄)

住 所

年 姓 月

名 日生

(用紙半紙二ヶ折)

履

歷

書

本籍族稱戸主名續柄
住 所

年 姓 月

名 日生

一、學 業

一、何年何月何日何々小學校卒業

一、何年何月何日何立何々學校ニ入學

一、何年何月何々學校第何學年修了又ハ卒業

一、卒業證書等

一、何年何月何日何學校ニ於テ何科卒業證書ヲ受ク

一、何年何月何日何處ニ於テ何々免許狀ヲ受ク

一、職務 職業

一、何年何月何日何地ニ於テ何職ヲ奉ス(俸給等記載スヘシ)

一、何年何月何日依願免官或ハ目下勤續中等

一、何年何月何日ヨリ何地ニ於テ何業ニ從事ス

一、賞 罰

一、何年何月何日何處ニ於テ何事ニ付何賞(或ハ罰)ヲ受ク

右ノ通リ相違無之候也

年

月

日

右 姓 名 印

第十七條 入學ヲ許可サレタル者ハ入學料(金參圓)ヲ添ヘ左記書式ニ依リ保證人連署ノ在學證書ヲ差出スヘシ

(用紙半紙二ヶ折)

在 學 證 書

印紙
三錢

私儀今般御校へ入學御許可相成候ニ就テハ在學中御校ノ規則ヲ嚴守シ專心勉勵可仕候也

本籍族稱戸主トノ關係
住 所

年 姓 月 日生
名 印

前記之通相違無之候ニ就テハ御校規則承知ノ上證人ニ相立チ向後本人身上ヨリ相起リ候事件ニ關シテハ推考ニ於テ一切ノ責任ヲ引受可申候也

本籍族稱

本人トノ關係
保證人、姓

業住所
年月日生
名印

本人トノ關係
副保證人、姓

業住所
年月日生
名印

多摩帝國美術學校長 殿 年月日

第十八條 保證人ハ入學者ノ父兄若クハ父兄ニ代リテ其ノ責ニ任スル者タルヘシ 保證人
カ東京市内又ハ其ノ附近ニ居住セサルトキハ更ニ副保證人ノ連署ヲ要ス 副保證人
證人ハ東京市内又ハ其ノ附近ニ居住スル成年男子ニシテ一家計ヲ營ム者タルヘ
シ

第十九條 保證人ヲ變更シタルトキハ新保證人連署ノ在學證書ヲ差出スヘシ
第二十條 疾病其他ノ事故ニヨリ退學セント欲スル者ハ保證人連署ノ上届出ツヘシ
第二十一條 事由ノ如何ヲ問ハス一週間以上缺席セントスル者ハソノ旨届出ヘシ

疾病ニヨリ缺席二ヶ月以上ニ及フ者ハ醫師ノ診斷書ヲ添へ保證人連署ノ上休學
(ヲ願出ツヘシ)
第廿二條 休學シタル者其ノ事故止ミタルトキハ直チニ原級ニ復スヘシ
第廿三條 休學期間ハ學費ヲ徵收セス

第七章 授業料

第二十四條 本校女子部ノ授業料ノ年額及ヒ分納期ハ左ノ如シ

專攻科	選科	本科	科別	年額	學期		
					一學期	二學期	三學期
		六	拾	圓	貳拾圓	貳拾圓	貳拾圓
		六	拾	圓	貳拾圓	貳拾圓	貳拾圓
		六	拾	圓	貳拾圓	貳拾圓	貳拾圓

右ノ外必要ニヨリ實習費月額金壹圓以内ヲ徵收スルコトアルヘシ
第廿五條 前條ノ授業料ハ其ノ月二十日迄ニ納付スヘシ
一旦納付シタル授業料ハ如何ナル事由アルモ之ヲ返付セス

第八章 賞 罰

第廿六條 本校生徒ニシテ學技優秀品行方正ナル者ヲ特待生トス
第廿七條 特待生ハ每學年ノ始メニ於テ之ヲ定ム
第廿八條 特待生ハ其特待生タル間授業料ヲ免除ス
第廿九條 校長ニ於テ教育上必要アリト認メタル者ニハ適當ナル方法ヲ以テ之ヲ表彰スル
第三十條 ヨトアルヘシ
左ノ各項ノ一一該當スル者ニハ其ノ情狀ノ輕重ニヨリ譴責停學 除名又ハ放校
ニ處スルヨトアルヘシ

- 一、性行不良ニシテ改善ノ見込ナキ者
- 一、學技劣等ニシテ成業ノ見込ナキ者
- 一、出席常ナラサル者
- 一、無届缺席一ヶ月ヲ超ユル者
- 一、本校諸規則又ハ生徒心得ニ違背セリト認メラレタル者

第九章 生徒心得

第卅一條 生徒心得ニ關スル事項ハ學校長別ニ之ヲ定ム (以下省略)